

すくすく

えこちるっこ！ ふくあか



—第12号—



エコチル調査にご参加いただいているみなさまへ

エコチル調査に参加して下さっているみなさま、こんにちは！

本格的な夏を迎えましたが、ご家族のみなさまはお元気でお過ごしでしょうか？

さて今回は、エコチル調査の事業についてあらためてご説明いたします。

●全体調査について

現在、みなさまにご協力いただいている【全体調査】は、2014年3月末までにご登録いただいた全国約10万人の方を対象とした、半年に1回の質問票による調査です。

また、いくつかの疾患について、お子さまが診断を受けたと質問票でご回答された方のうち、同意をいただいた方を対象に、その病状についての医学的な情報をかかりつけの医療機関から提供していただく調査『疾患情報登録調査』も、昨年からは始まりしました。この調査で収集するのは、診断の内容、治療の内容や疾患の経過などの情報であり、質問票調査だけでは把握ができないものです。

疾患と環境要因との関連を知るためには、疾患の情報をきちんと調べることが大切です。みなさまのご協力により得られた情報は、大切に活用させていただきます。

●詳細調査について

全体調査に加え、今冬からは【詳細調査】が始まります。

全体調査にご参加いただいている全国約10万人のうち、2013年4月以降に生まれたお子さまの中から無作為に選ばれた約5,000人を対象に、「詳細調査」をおこないます。詳細調査も全体調査と同じように、お子さまが13歳になるまで継続して実施する予定です。

まず、お子さまが1歳半、3歳の時に事務局スタッフがご家庭を訪問し、居住環境や生活環境についての調査をさせていただきます。

この『訪問調査』は、お子さまが6歳に

なった以降も1、2回実施する計画です。

次に、お子さまが2歳、4歳の時には『医学的検査（身体計測、診察および身体所見観察、採血検査等）』、および専門家の面談による『精神神経発達検査』を受けていただきます（採血検査時は、注射針による痛みを緩和するクリームもしくはテープを使用できます）。

この医学的検査および精神神経発達検査は、6歳、8歳、10歳、12歳の時にも実施する計画です。

訪問調査、医学的検査および精神神経発達検査の結果は、詳しいご説明を添えてお返しします。

詳細調査の対象となられる方には、今秋、説明書をお送りしたのち、お電話にて調査のご説明をいたします。同意をいただいた方は、今冬から調査を開始させていただきます。

詳細調査は、全体調査から得られる成果の信頼性を高め、エコチル調査の成果をより有意義なものにします。

将来の子どもたちの健康と環境を守る研究の意義をご理解いただき、詳細調査へのご協力もぜひお願いいたします。

福岡ユニットセンター
にご登録いただいている
エコチルママ
(H26.7.31現在)

7,691人

すくすく えこちるっこ！ ふくあか

平成26年8月1日発行



エコチル調査

- ・生活環境の中にある化学物質や子どもたちの生活習慣等と子どもの発達や病気との関係調べます。
- ・病気の予防に役立つ政策や子どもがすくやかに育つ環境整備につなげます。

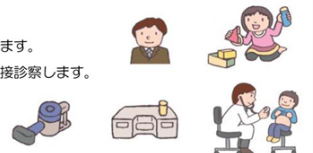
全体調査

- ・妊娠中および出産時のお母さんの血液等や、お父さんの血液の中の化学物質を調べます。
- ・お子さんの健康状態や生活環境・生活習慣等について、質問票で調べます。



詳細調査

- ・訪問調査により家庭内の化学物質やハウスダスト等を調べます。
- ・お子さんの健康状態や成長・発達について、小児科医が直接診察します。
- ・採血検査により詳しいアレルギー抗体等を調べます。
- ・専門家が面談により精神神経発達検査を行います。



- ①子どもの健康と環境について、専門的に調べた情報が加わる
- ②エコチル調査全体の知見の信頼性を高める



こどもの病気の基礎知識 ～アデノウイルス感染症～

アデノウイルスはいわゆる夏カゼの代表である、咽頭結膜熱（プール熱）を起こすウイルスです。流行性角結膜炎（はやり目）や胃腸炎（嘔吐下痢）や出血性膀胱炎の原因にもなり、肺炎や脳炎を起こすこともあります。咽頭結膜熱の症状は咽頭炎（のどの痛み）、結膜炎（目の充血）、発熱です。発熱は40度近い高熱となることが多く、3～5日間続くこともあります。

ウイルスは感染した子供のだ液や便などにおいて、プールに限らず、日常的な接触で鼻やのどからウイルスがうつり、感染が広がります。潜伏期間は5～7日ほどです。

検査は迅速検査が主体で、のどや目を綿棒でこすって採取し、15分ほどで結果が出ます。早い時期に検査をした場合は陰性になることもあります。血液検査で炎症反応が上がることもあり、細菌感染との区別が重要となります。

治療としては、基本的に症状に合わせた対症療法のみで、抗生物質は無効であり抗ウイルス薬もありませんが、1～2週間で自然に治癒します。学校伝染病にも指定されており、症状が消えた後2日間は登園や登校が禁止されていますが、症状がなくなっても2週間から1か月ほどは便などにウイルスが出続けますので、感染拡大には注意する必要があります。



ご家庭で気をつけることは？

一般的なカゼと同様、手洗い・うがいが大切です。大人にも移りますので、お子さまが感染した際には、オムツや便の取り扱いに注意し、タオルや食器などは共有しないようにしましょう。



高熱が続くことがありますが、水分が取れていて、呼吸や意識に異常がなければ問題はありません。かかりつけ医の指示に従い、安静を心がけ、ジュースなどで水分、糖分、塩分を補給しましょう。

質問票Q&Aコーナー ～よくある質問～

エコチル調査では、生後6か月以降、半年ごとに質問票へのご記入をお願いしています。そこで、今回は質問票ご記入について、よくある質問をご紹介します。

Q.回答したくない、回答に迷う質問があるときは？

質問番号に「×」をご記入ください。
何もご記入がないと回答もれとなり、改めてご連絡させていただきます。

Q.質問票を記入するペンの色は？ 消せるペンで書いてもいいの？

機械で読み込みますので、HBの鉛筆・シャープペンシル、または黒のボールペンでご記入ください。消せるペン（フリクションなど）は熱によって文字が消える性質があり、夏場などは文字が消えてしまう場合がありますのでご遠慮ください。

Q.質問票の記入日は必要なの？

質問票記入日、お子さまの身長・体重は調査の基本となる項目ですので、必ずご記入くださいますようお願いいたします。

～参加者のみなさまへのお願い～

- ◆質問票は6か月ごとにお送りしています。
お手元にまだご回答いただいていない質問票をお持ちでしたら、ぜひご記入の上、ご返送をお願いいたします。
紛失・破損された場合でも、お気軽に事務局までご連絡ください。
すぐに新しい質問票をお送りいたします。

- ◆質問票の謝礼は簡易書留でお送りしています。
お受け取り時にご不在の場合は、不在連絡票がポストに入りますので、郵便局にご都合の良い日時をお知らせください。

引き続きエコチル調査へのご協力を
どうぞよろしくお願いいたします。

■発行
九州大学エコチル調査事務局内
すくえこ編集部

〒812-8582
福岡市東区馬出3-1-1
九州大学
コラボステーションⅡ-701

電話/FAX：(092)642-6453
フリーダイヤル 電話/FAX：
0120-155-539
（携帯・PHSからも使えます）
ホームページ：
<http://eco.kyushu-u.ac.jp/>

